

コスモス

勝林寺寺報

自殺者が多くなつた

今日の世の中は、まことに早いテンポで変化していきます。したがつてそこでは、私たちの人生生活においても、しばしば思わぬ大きな矛盾や苦惱が噴出し、人々の中には、それに充分対応できなくて、厳しい危機に追い詰められていく人も少なくありません。

昨今の日本の社会では、自殺するものが年間三万人を超えるといいます。交通事故死の数よりも多いわけです。しかもそのおかげには、自殺未遂のものが、その十倍はいるといわれます。すると、毎年三十万人の人々が、自分自身に絶望し、生きる目標を見失つて、悩んでいるということがあります。そのような現実状況に対しても、何よりもまず、政府、行政が、急いで配慮を施し、十分に対策を講ずべきであります。

しかしながら、また個人的には、私たち一人ひとりが、日頃において、充分に自分の人生について考え、また自分の心をたくましく育てておくことが大切です。人生というものは、だれにとつても、すべて自分の思うようにはいかないものです。その思うに任せぬ自分の人生を、いかに耐え抜き、どう切り開いていくかが問われるところで、それについては何よりも、それが、たしかな人生態度を確立しておくことが肝要です。

そしてそのように、自分の心を育て、人生態度を確立するためには、宗教を学ぶことが大切

です。いま仏教についていえば、日本全国には、仏教寺院が八万近くもあり、僧侶は二十一万人を超えております。真宗の寺院についても、合わせて二万、僧侶は四万八千人といいます。いま吳地区だけでも、真宗寺院は五十六寺、二百人を超える僧侶がいます。それらの寺では、ほとんど毎月のように法座が開かれており、皆さんがその気になつてくだされば、仏法を学ぶことは、そんなにむづかしいことではありません。

もとより、寺院、僧侶の側にもいろいろと問題があり、皆さんからの厳しい批判があることでも重々に承知しています。しかし皆さんのが、本気で仏法を求められるならば、きっとどこかで、その道は開かれてくると思います。どうぞ自分の心を育てるために、明るく安らかな人生を生きるために、つとめて法座にお参りいただきたいのです。また何か急に悩み事が発生したら、遠慮なく住職に相談してください。できるかぎり力になりたいと思います。私たち寺院と僧侶は「心の病院」として、皆様の人生生活の、よりよい相談者、支援者でありたいものと、心より念じております。(2003年・8月)

(信楽峻歴遺稿法語集より引用)



葬儀
九月三日
養父市中瀬

田中 芳子様 八十六歳

彼岸会法要

九月一十三日は、前日の肌寒い日から一転して、少し汗ばむほどの好天の一日となりました。永井総代会長様に植えていた彼岸花と木犀の香る中、彼岸会法要を勤めさせていただきました。ご多用の中にもかかわらず、遠方から来てくださる方、ゆっくりゆっくり歩を進めながらお参りしてくださる方、欠かさずお参りしてくださる方など、多くの方にご縁に遇つていただきました。今年は、余間に、歴代の住職・坊守の肖像画の掛け軸を掲示させていただき、お参りの皆様にじっくりと見ていただきました。

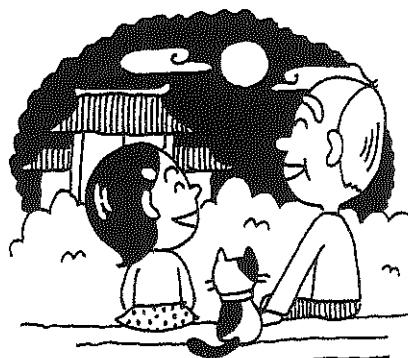


十月 勝林寺 予定

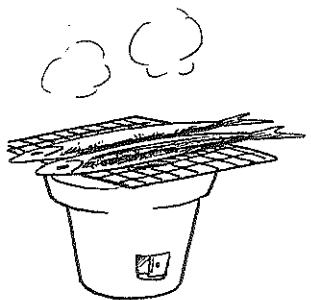
八日(日)	関森敏昭宅	一周忌
九日(月)	湯口孝司宅	一周忌
一四日(土)	田中啓治宅	忌明法要
一五日(日)	衣川正之宅	一三回忌
二一日(土)	善立寺	報恩講
二三日(日)	善立寺	繼職法要
二六日(木)	みのりを聞く会	
二七日(金)	長專寺	報恩講
二八日(土)	坂本光隆宅	七回忌
二九日(日)	宮薦義明宅	三回忌
三一日(火)	山田一美宅	一三回忌

敬老報恩講中止のお知らせ
毎年、勝林寺の行事の中で、最も多くの方にお参りいただく「敬老報恩講」は、今年も一〇月に予定しておりました。しかし、すでにお聞き及びかと思いますが、前住職が体調を崩し現在入院加療中であります。それを考慮して役員の皆様より「今年は中止としましょう」とのお申し出がありました。楽しみにしていただいておりました皆様には、大変申し訳ありませんが、本年の敬老報恩講は、中止とさせていただきました。来年は、今年の分も上乗せして楽しい企画をさせていただきます。ご理解、ご協力を願っています。

なお、毎年一月二十一、二十二日にお勤めしております「報恩講法要」は、予定通り勤めさせていただきます。美味しいお齋を用意して、皆さまのお参りをお待ちしております。二日目には、送迎バスを差し向けています。お揃いでお参りください。



(敬称略)



衆生（しゅじょう）

「仏教では、私たち人間のことを「衆生（しゅじょう）」と申します。「衆生」の「衆」は「いろいろの」とか「たくさん」という意味の言葉です。ですから、「衆生」ということは、たくさん生き方、いろいろな別の生き方という意味になります。

顔や姿はひょっとしたらなかには似ている人があるかもしれません。しかし、生まれ方や育ち方、習つたことや覚えたこと、みんな別々のことです。だから、一人として同じ中身の人間はないでしょう。私というものは一人、どんなに親しい人でも代わつては上げられない、代わつてもらえない、ただ一人かけがえのない命を生きているのが私なのだということです。

衆生という言葉にはもう一つ別の意味があります。「たくさん生き方をへめぐつて、やつと今、人と生まれたもの」というほどの意味です。怒りの世界、「地獄」にいたことがあつたのでしょか。「餓鬼」のようなむきほりの世界を経てきたのでしようか。

仏教では、この私は、いま人間の姿かたちをしていて、前一世、そういう浅ましい世界をへめぐつて、今ようやつと人間に生まれてきたのだと教えます。あなたの今日一日の暮らしにも、ひょとしたら地獄の名残が残つてはいませんか。餓鬼の根性が頭をあげてはこなかつたでしょうか。畜生の浅ましさが噴き出してはきましたが、

仏教では、私たち人間を「衆生」とよびます。一人ひとり心のうち暮らしのうちに、人には見せられない地獄・餓鬼・畜生を抱えながら、それでもやつと、かけがえのない私という人間に生まれてきています。

その私を、どう生きるかを考え求めていく道が「仏教」「仏道」という教えなのです。

（前住職テレホン法話第一集より引用）

法語カレンダー一〇月

南無阿弥陀仏を トババババ

この「」について、私の先輩である北嶋文雄師

が次のようにおっしゃっていました。」の「お」とか「さん」という言葉は、そもそも「呼ぶ方」が付ける尊称であつて、「名告る方」がそれを付けて教えるのはおかしいはずだと言うのです。

しかし名告る方が、呼ぶ方の立場になって、それをあえて付けて自分を知らせる所に「自分を

お母さんと呼び、たよって生きていってほしい」という親心があるのだと、教えていただきました。有り難いことだと味わわせていただいたことです。

お念仏も同じですね。名号とは名前ですから、本来は「阿弥陀仏」のみを指すはずですが、「まかせる」という意味の「南無」まで付けて「南無阿弥陀仏」で名号と言います。阿弥陀さまが、「南無」まで付けて「われ《阿弥陀仏》にまかせよ《南無》」とお名告りくださいから、私たちは「《阿弥陀仏》さまにおまかせします《南無》」と、いつのまにかその救いを受け入れ、『南無アーリダブ』とお念仏する者に育てられたのです。

思えば、祖父はあれだけいつでも、阿弥陀さまのお慈悲を感じながら、人生を歩んでいたんだなと感心します。あの大きな声のお念仏を、恥ずかしいと思つた時もありましたが、今では、祖父ほどにお念仏の出ない自分こそ、むしろ恥ずかしいと思うまでになつてきました。

今月の「」和讃を、もう一度味わつてみてください。

（『註釈版聖典』六〇九頁）

阿弥陀さまの「必ずお念仏する者に育てて救う」という「大悲の誓願」を、決定的に受け止めた

人は、「ねてもさめても」区別なく、お念仏するがよいという「和讃」です。

ところで、私たちはいつも「母」という女

性を「お母さん」と呼ぶようになつたかを覚えています。しかし、なぜそう呼ぶようになつたのかは、はつきりしています。その女性が

先に「私がお母さんよ」と名告つたからです。

どすん

庫裏の客間の奥にあるお仏壇を「お内仏（おないぶつ）」と呼んでいます。」門徒の皆さんには、通つていいと思います。」

ただく」とが少ない部屋の一つが、それでも、仏壯さんの名前を呼ぶのはおかしいはずだと言うのです。

しかし名告る方が、呼ぶ方の立場になって、それをあえて付けて自分を知らせる所に「自分を

お母さんと呼び、たよって生きていってほしい」という親心があるのだと、教えていただきました。有り難いことだと味わわせていただいたことです。

お内仏も同じですね。名号とは名前ですから、本来は「阿弥陀仏」のみを指すはずですが、「まかせる」という意味の「南無」まで付けて「南

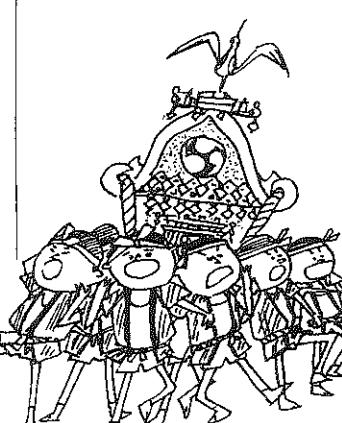
無阿弥陀仏」で名号と言います。阿弥陀さまが、「南無」まで付けて「われ《阿弥陀仏》にまかせよ《南無》」とお名告りくださいから、私たちは「《阿弥陀仏》さまにおまかせします《南無》」と、いつのまにかその救いを受け入れ、『南無アーリダブ』とお念仏する者に育てられたのです。

思えば、祖父はあれだけいつでも、阿弥陀さまのお慈悲を感じながら、人生を歩んでいたんだなと感心します。あの大きな声のお念仏を、恥ずかしいと思つた時もありましたが、今では、祖父ほどにお念仏の出ない自分こそ、むしろ恥ずかしいと思うまでになつてきました。

今月の「」和讃を、もう一度味わつてみてください。

井上 見淳（いのうえ けんじゅん）

龍谷大学准教授



所とする私たち寺族の出番です。（文責 坊守）